

## Step 0 事前に確認する



事前の確認とは、どんなことをすればよいですか？

授業づくりは、この単元（題材）はどんな学習をするのかを事前に確認することから始めます。まずは、学校の年間指導計画を基に、これから計画する単元（題材）と他単元（題材）との関連、行事との関連等を確認しましょう。



### 〇〇小学校 〇〇学級（知的障害特別支援学級） 年間指導計画一覧

		4月	5月	6月
教科別の指導	国語	・音読 ・短文視写 ・言葉遊び（しりとり、なぞなぞ、かるた等）	・平仮名、片仮名の読み書き	・交換日記
	算数	・なんにんいるかかぞえよう	・かぞえめいじんになろう	・いくつといくつかな？
	音楽 ※交流	・導入 ・リズムとなかよし		
	図工 ※交流	・すきな かたちや いろ なかに ・オリエンテーション	・かきたい もの なかに ・ちよきちよき かざり	・すなや つちと なかよし ・ひもひも ねんど
	体育 ※一部交流	・体ほ		
道徳	※日々			
自立活動	※児童			
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・挨拶 ・身のこなし ・着替		
	生活単元学習	・みんなのクラス ・学校生活		
		・野菜 ・カレー		

単元名	2. かぞえめいじんになろう		教科書のページ	☆☆(1)p.10~23
配当時数	7時間	活動時期	5月	学習指導要領の内容 A数と計算 2段階 ア(7)(イ)
単元の目標	知識及び技能	ものの集まりや数詞と対応して数字が理解できる。		
	思考力、判断力、表現力等	数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味を持って生かすことができる。		
	学びに向かう力、人間性等	ものの集まりや数詞に関心を持ち、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方のよさを感じながら、興味をもって学ぼうとする。		
単元の観点別評価規準	知識・技能	ものの集まりや数詞と対応して数字が分かっている。		
	思考・判断・表現	ものどもの関係において、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学級の当番活動に生かしている。		
	主体的に学習に取り組む態度	ものを数える活動において、ものの集まりや数詞に関心を持ち、生活や学習に活用しようとしている。		

この学級の児童は、国語と算数は星本（☆本）を、音楽、図工は交流学級と同じ1年生の教科書を使っています。国語、算数においては授業の際、学習活動で星本（☆本）を使うと学習の効果があると思われる場面で使用していますよ。



※星本（☆本）…知的障害特別支援学校用 文部科学省著作教科書

「年間指導計画一覧」を見ると、他の単元（題材）や行事との関連が確認できます。次に、学習指導要領から「教科の目標及び内容」を確認し、児童生徒の実態（教科の段階）に合わせて、具体的な単元（題材）の主な指導内容・方法を考えます。この2つを踏まえて、学校の教育活動全体や生活場面に即しながら、繰り返し指導していくことにつなげていきましょう。

